

1月の花

タンポポ

ま冬でも元気に花を咲かせる植物の一つにタンポポがあります。陽だまりで見つけた黄色い花は、そこだけ先に春が来たような感じさえ、受けるものです。草の葉が地面にびたりとついて花のように広がった形をロゼットと呼び、ナズナ、ヒメジ

ヨオン、コウゾリナなどはこの形で冬をこします。これらが春になると高い茎を立ててその先に花をつけるのに対し、タンポポは一生ロゼットのままである点に大きな特徴があります。ま冬のタンポポは特に花の茎が短く、ロゼットの中心につつましく身をふせて咲いているでしょう。



あけましておめでとうございます

旧年中は、市民の皆様には博物館を温かい目で見ていただき、また資料寄贈などの御協力、御支援をいただきまして、まことにありがとうございました。おかげさまで、この5年間で調査研究、収集活動も着実に進み、博物館としての基礎もずい分とかたまってまいりました。

今年は、これらの成果をふまえ、今までの活動をより充実させ、皆様のご期待に沿う活動を企画していきたいと思います。今年の大きな事業とし

ては、1階展示室の大がかりな改装を予定しております。開館以来、部分的な展示替えを行ってまいりましたが、今回は今までにない規模で展示替えをいたすべく準備を進めています。7月の完成をめざし館職員全力をあげて努力してまいります。今年も皆様のご支援、ご協力をお願い申しあげます。



1月の行事

●美術講演会「中国陶磁器」

陶磁器の白眉といわれる宋・元の陶磁器を中心
にスライドまじえ名品の観賞と宋元文化について
考えてみる。

- とき 1月24日(土)午後1時から
- ところ 平塚市博物館講堂
- 講師 矢部良明氏(東京国立博物館)
- 参加 中学生以上を対象にする。(参加自由)

●体験学習シリーズNo.49 「陶器を作ろう」

土をこね、器に作りあげる工程を体験してみま
しょう。

- 対象 一般成人
- とき 1月20日(火)から24日(土)まで
連日5日間
- 定員 30名、多いとき先着順とする。
- 参加費 1人500円
- 応募 12月20日までに往復ハガキで

●1月自然観察会「冬の自然をたずねて」

日: 1月18日(日)雨天中止 9時~15時

場所: 愛川町周辺

内容: 冬の鳥や地形などの観察

申込: 1月8日までに往復ハガキで。

●土曜観察会

(毎月第2・4土曜日 14時~17時)

1月10日 常緑樹の見分け方 高麗山

1月24日 川原の鳥 花水川

8年3月までの予定表ができます。希望
者は、博物館受付に申し出てください。参加は、
予定表を見て自由にどうぞ。申し込み不要です。

●星を見る会「冬の星雲、星団を見よう」

冬の星座の中にちりばめられた星雲星団を観察
します。

•日時: 1月24日(土)午後5時~7時

•申し込み: 1月14日までに往復ハガキで。多
数の場合は抽選で30名。

2月の行事

特別展 開化期の外人展

幕末より明治にかけて神奈川県を中心に活躍し、
鉄道・水道・通信・医療など、日本の近代化に寄
与した外国人とその事績を、写真・遺物・文献等
をもつて紹介します。

会期 2月17日(火)~2月22日(日)

会場 特別展示室 入場無料

●星を見る会「太陽黒点を観察しよう」

太陽の表面に現われる黒点のスケッチをとりま
す。

- 日時: 2月22日(日)11時30分~13時
- 申し込み: 2月12日までに往復ハガキで、多
数の場合は抽選で30名。

●土曜観察会

(毎月第2・4土曜日、14時~17時)

2月14日 冬の雑木林 I 吉沢

2月28日 冬の雑木林 II こどもの森

●体験学習シリーズNo.50

「原色ドライフラワーを作ろう」

美しいお花を永遠に咲いたまま固定してみまし
ょう。

日時 昭和56年2月24日午後1時から3時ま
で。

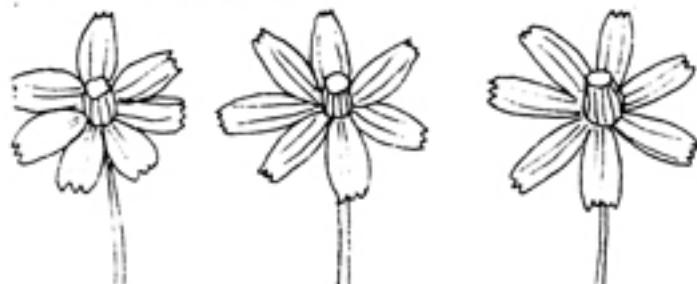
とりだし 3月7日午後1時から3時まで

場所 科学教室

参加費 1人 1,000円

申し込み 2月1日まで往復ハガキで

定員 30名先着順



●自然観察会「化石調べよう」

2月15日(日) 雨天中止 9時~16時

場所: 愛川町中津付近

内容:貝化石と地層の観察

申込: 2月5日までに往復はがきで博物館へ

寄贈品コーナー展示替のお知らせ

今回の展示は、二見利箭画伯の未公開作品のうちエッチングによる小さい作品7点をご紹介いたします。エッチング（銅版に線状の傷を酸によって腐蝕させ、凹部にインクを流して刷りあげる銅版画）は、繊細な形の表現に適した技法で、画伯の求める心象女性像は、大胆なデフォルメ（変形）を与えながら、より強い実在感をもたせ、エロティシズムを感じさせる獨得のものである。

作品 E-1
E-2
E-3
E-6
E-8
E-9
E-14

展示期間 12/1~2/27

1月のプラネタリウム

「あなたはUFOを見たか」

あなたはUFOを見たことがありますか？ UF

Oから宇宙人がおりてきたという話を信じますか？、その前にUFO=未確認飛行物体とはいつたいどんなものなのでしょうか。

展示が変わります。

一開館以来はじめての大がかりな展示替えです

昭和51年5月に博物館が皆様の前にお目見えして以来、まる5年が過ぎてしまいました。その間に館をおとすれ、展示をごらんになつたり、館の設備をご利用になつた方は、この1月で41万人にもなりました。

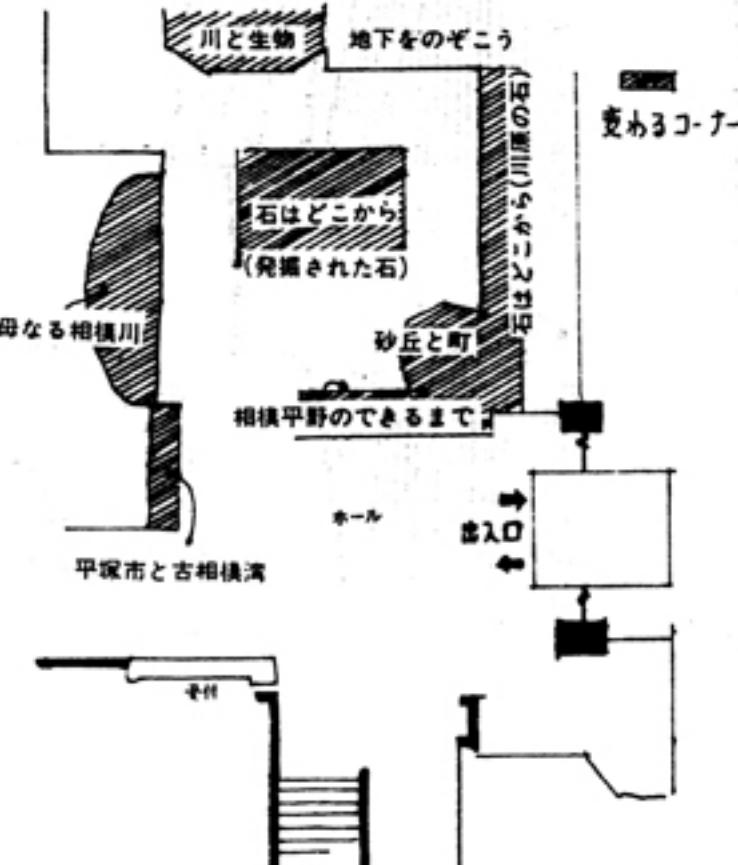
館内の様子は、というとその間、「相模の村」、「街道」、「相模の民具」、「未来考コーナー」の内容の展示替えが行われたり、「川の漁とさかな」の水槽のさかなたちが変わつたりしてきましたが、他は5年間変わらずに今日に至つております。5年の間に館では種々の調査研究活動や資料の収集により新たに知見を得たものが、多数蓄積されました。それらの成果は、特別展、出版物、報告書、体験学習、屋外展示等の姿となつて現われております。

こうした経緯をふまえ、今年1階展示室を一部展示替えするはこびとなりました。

主な展示替えは、1階入口より正面の「平塚市と古相模湾」の航空写真、「母なる相模川」、「相模平野のできるまで」、「砂丘と町」、「石はどこから」、「川と生物」が変わります。特に、「石はどこから」では発掘された石の展示が、「森と生物」へ展示がそつくり変わります。「砂丘と町」も、「2万年前の平塚」に変わります。

展示の細目については今後も煮つめていき、展示物がすつきり整い、皆様の目にふれるのは7月になる予定です。

開館以来はじめての大きな展示替えです。展示の意図する大きな流れは変えないまま、新しい情報を入れるため多少の苦労はありますが、展示物から受けける印象を深く豊かなものにするため努力をしていきたいと考えています。



・河口の自然

・森と生物

・石はどこから(川原の石)

・2万年前の平塚

